

あきる野民報

発行責任者/松平重幸 TEL & FAX 558-0718

住民の利益をまもり、
「住民こそ主人公」の
あきる野市政実現をめざして！

2006.12.24 No.453 (毎月2回発行)

強行可決に抗議

改悪教育基本法

国民の闘いの広がりの中、自民・公明のゴリ押しで
「改悪教育基本法」は強行可決されました。
これまでよりさらに輪を広げ、「改悪教育基本法」
の学校現場への持ち込みを許さない闘いを力強く繰
り広げましょう。



元教師の思
いよ届け！

5人として尊重される教育を

西井 稔
元小学校教師
秋川在住

教育基本法の改変が生み出され
危険性はすでに先取りしている
地域に現れています。

その一つが競争と格差の教育です。区の一斉学力テストの点数で勝ち組、負け組が決まるため、従来の子どもの発達段階に合わせたカリキュラムを学力テストに合わせて変えるため、無理が生じています。「おまえのせいだ平均点下がる

解答を書き換えて点数を上げる校长まで出ています。もう一つは現行の一〇条を取り払い国が思いのままに教育を牛耳る国家教育です。

「君が代」を処分で押し付け、命のないじさを教えた養護学校の性教育を押しつぶしたことが改められています。

競争と格差そして法律で押し付けられる教育に日本の未来はありません。

付ける教育に日本の未来はありません。

6 教育は学校・家庭・地域の協力で

元高校教師
西川 昇
引田在住

元教師の思
いよ届け！

最近のいじめ自殺事件について

考えますと、かつては職員会議で校長以下、全教職員が、議論をして問題生徒の指導方針をつくり、家庭をまじえて相談し解決の努力をしてきました。現在の高校現場では、教員は数年で強制移動させられ、じっくりと教育現場では仕事ができない。報告書作成や事務作業や諸会議・打ち合わせに忙

殺され、果てはパソコンにらめっこ。生徒の顔を見たり、生徒の相談にのるゆとりもないと現場の先生は嘆いています。

石原都知事誕生以来始まつたこの暴挙。教育の自由を守るためにも、都民の力で都政を変えねばなりません。

君が代斉唱で、起立しなさい」「眼

がない」「教員を監視役である都の担当者がチエックし処罰する、江戸時代のキリストンの踏み絵と

まったく同じ方法で教師・生徒の

小皇帝 教育こわし

から威張り

日本共産党あきる野市委員会・同後援会主催

新春の集い

とき 1月14日(日) 午後1時半～



今年7月にあきる野東地区後援会総会での演奏の模様。

五日市まほろばホール

2部 各界からの挨拶

1部 沖縄の三線演奏と民謡

整理券をお求めください。

早いもので、ちびももう一歳半健診のお年頃。特に問題はなさそうですが、何か言われそうなのは、まだおっぱいを飲んでいます。むすこの頃は(うちは卒乳後でしたが)「歯のために、一歳過ぎたらやめましょう」と言われていました。三年後、当時現役おっぱい星人だったむすめは「そろそろやめた方が…」と言われました。

さて今回は…「順調ですね。あとはお

っぱいかな!! そこで「まだいいかと思ってます」と答えたところ、「お母さんがいいならいいわね」とあっさり。

母乳の研究も進み、徐々におっぱい星人が認められる世の中になってきているよううでうれしいです。

たばた あづみ
連絡先は☎550-6674

野良望

サミニエル・ベケットの「ゴドー」を待ちながらは不条理劇の傑作です。荒野に立った男女二人が、唯々ゴドーを待つだけのストーリーです。奇妙な旅人も通りがかりますが、それがたして「ゴドー」とは「神か死か?」◆筋道が通らない事や道理に合わない事を不条理と云います。サルトルは「物そのものを直視した時、偶然的な事実に不安を覚え、その事実性を不条理としています。更に力ミユは挫折を悟覚の上で人間的な努力をする価値の復権を唱え、その結果、不条理は反抗的人間を生み出すとも言っています。◆小泉内閣から安倍内閣へ変わつて三ヶ月、右傾化社会は強まり国民の暮らし格差は益々広がる。お年寄り達が人間らしく生活でき、子供達にとって不安のない教育現場を作り出す事は、ごく当たり前と誰もが考えますが、その常識を直視して不安を覚える社会こそ不条理と云えるし、安倍内閣へ向けた反抗的人間の出現も当然の現象と考

えます。(木崎)



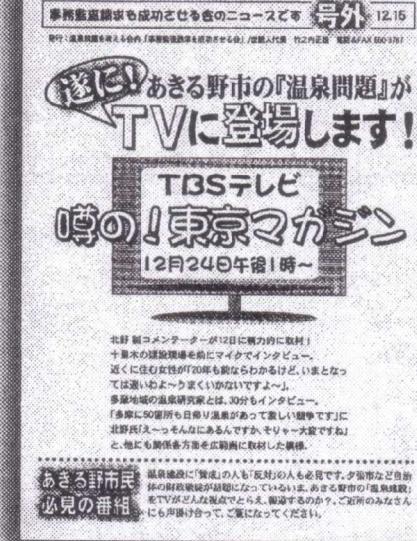
東地区後援会で「餅つき大会」開く

東地区後援会では九日、二宮の唐沢さん宅で恒例の「餅つき大会」を開催しました。当日は朝からいいくの雨でしたが、30名が参加、元気な掛け声とともに10キロのもちをつきました。女性の手で、あんこ、からみ、よもぎもち等が次々と出来上がりました。とん汁もあり、「つきたてのものはやっぱりおいしいね」の声が上がり、参加者大満足のもちつき大会でした。同時に行われたバザーも盛況で、昨年を上回る売上げがありました。最後に教育基本法改悪反対の闘いと来年の各種選挙での奮闘を誓い合いの散会しました。

(二宮支部長)片野坂光典さ

日本共産党後援会便り

あきる野の「温泉問題」にTBSテレビがやってきた!



「12日、五日市駅前で『噂の! 東京マガジン』の北野誠がなにか取材していたよ」と、ご近所のOさん。——そうなんです。この日、TBSテレビのスタッフがあきる野市の温泉問題で市内全域で精力的に取材。「温泉問題を考える会」にも取材。

多摩の温泉問題研究家では北野誠氏が30~40分も熱心にインタビューをしました。

この日、TBSスタッフは、午前中に檜原村の「数馬の湯」も訪ねて、あきる野市に戻ってきた。場所は、温泉建設現場の対岸、十里木バス停付近。集まつた会のメンバーは十一人。かなり調べてきた様子で、北野氏が次々と質問を繰り出す。近所に住むM子さんは「20年も遅いわよ、これだけ競争が激しくなつていては、うまくいかないわよ」。作務衣姿であご髭をたくわえ

泉研究家宅でインタビュー。

「多摩地域には50もの日帰り温泉がひしめいていて熾烈な競争をしていますのに、

北野氏「えへ、そんなにあるんですか」。

当日のコーナーは一時間番組の中の10分間程だそうです。

前中に檜原村の「数馬の湯」も訪ねて、あきる野市に戻ってきた。場所は、温泉建設現場の対岸、十里木バス停付近。集まつた会のメンバーは十一人。かなり調べてきた様子で、北野氏が次々と質問を繰り出す。近所に住むM子さんは「20年も遅いわよ、これだけ競争が激しくなつていては、うまくいかないわよ」。作務衣姿であご髭をたくわえ

泉研究家宅でインタビュー。

「多摩地域には50もの日帰り温泉がひしめいていて熾烈な競争をしていますのに、

北野氏「えへ、そんなにあるんですか」。

当日のコーナーは一時間番組の中の10分間程だそうです。



絵手紙/金井真奈美さん・瀬戸岡在住

市議会「呆れた」傍聴記

12月12日午前、市議会文教委員会で温泉施設問題の審議があると聞いて駆けつけた。

共産党の影山議員が「報告書の『公の施設』とは住民福祉の推進が目的のはずだが、入浴料の高齢者600円が無くなり一律800円で、市民サービスもないのか」に「収益を重視して一律にした」との返答で、第1の「呆れた」。

第2の「呆れた」は、「宿泊料が朝食付きで最高9500円は高い。泊まる人はいないのでは」に「これらの収益アップで年3200万円程度を見込めるようになった」と。

野村議員が質問「上がった利益は、一般財源に還元するとなっていたがどうか」に助役が「維持管理費などの内部留保で市の財政には還元出来ない」と返答。「えへ、市民の税金から約25億円も注ぎ込んで1銭も返さないと言うことなの~?」で第3の「呆れた」。

次の「呆れた」は影山議員が「赤字になったらどうするのか」に市長が「取締役会で一度も論議していない、私の一存では答えられません」だって。計画の言い出しつぶは市長だよ!「退職金返上します」ぐらいは言って欲しいよ。

また、「今日、議会を傍聴してきましたが、第三セクターが例え黒字になつても市の財政には還元せんとはつきり助役が言いましたよ」と、

「えへ、25億も市が投資しておいてですか? そんなことが許されるのですか?」と北野氏。

当日のコーナーは一時間番組の中の10分間程だそうです。

また、「今日、議会を傍聴してきましたが、第三セクターが例え黒

字になつても市の財政には還元せんとはつきり助役が言いましたよ」と、

「えへ、25億も市が投資しておいてですか? そんなことが許

されるのですか?」と北野氏。

当日のコーナーは一時間番組の中の10分間程だそうです。

歴史探訪 第33回 真照寺の絵馬版木(引田②)

今もなを煙吹き出す冬の有珠山
(静子)
七五三えくぼつくりてはにかめり
(昭代)
自立せし娘の窓灯り冬の星
(勝代)
草花
木崎秀治

農民の祈願に報い、全国でも珍しい紙絵馬風習の版木があきる野に保存されていた事に、私自身も歴史の妙を感じています。(この項終り)

残念ながら絵馬版木は見せて頂けませんでしたが、本堂裏手に薬師堂があり、室町時代の創建といわれています。訪れた十一月下旬、落葉が散り古色蒼然とした佇まいは古寺に相応しく癒しの心地を与えてくれました。

真照寺に絵馬版木があります。版木は木版画で広く知られるように、絵画や書を大量生産するために凹凸に彫って刷る板木です。日本では十二世紀の阿修羅像の木版刷が、仏の胎内から発見されています。江戸期ではバレンを使用して多色刷りした浮世絵が隆盛を極めました。

引田周辺の農家の養蚕業に支障を来さないために、縁起として寺から農家へ配られたものが、紙絵馬です。図柄は馬屋に猿を繋いで守護とした風習から、山王神の使いである猿が馬の手綱を取っています。山号を引田山、真言宗豊山派の真照寺は九世紀末の創建といわれます。十六世紀に火災、十七世紀再建。本堂裏手に薬師堂があり、室町時代の創建といわれています。訪れた十一月下旬、落葉が散り古色蒼然とした佇まいは古寺に相応しく癒しの心地を与えてくれました。

神馬奉納の代用品としての絵馬奉納は、農民にとって耕作に使う馬の安全保護からも、特別大事なものでした。人より馬が大事にされた時代が大事にされた時代が大事にされ、馬を大事にされた時代が大事にされました。馬頭観世音もあきる野市内で数多く見かけます。

